

ロタウイルス予防接種のお知らせ

～令和2年10月1日からロタの予防接種が始まります～

対象者 ・ 標準的な 接種期間 回数	令和2年8月1日以降に生まれたお子さん ロタリックス(1価)を選んだ方は ↳ 生後2か月に至った日～24週0日後の間に2回接種 ロタテック(5価)を選んだ方は ↳ 生後2か月に至った日～32週0日後の間に3回接種 <u>※途中でワクチンの種類の変更はできません。最初に接種したワクチンを最後まで接種します</u>
接種費用	無料(全額公費負担) ※必ず母子(親子健康)手帳を持参してください
接種場所	別紙の 市内指定医療機関 または 本島内の医師会加盟医療機関

★1回目は必ず出生14週6日後までに接種してください。

★予診票(もう一枚の名前や住所などを書く紙)に大切なことが書かれています。きちんと読みましょう。

★病院に行く時には必ず母子(親子健康)手帳を持参してください。

★2回目・3回目を接種する時は、前回との間隔を27日あけて下さい。

ロタウイルス胃腸炎って、どんな病気？

口から侵入したロタウイルスが腸管に感染して発症します。感染力が非常に強く、手洗いや消毒などをして、感染予防をすることが難しく、ほとんどの乳幼児が感染すると言われていますが、最近では年長児や成人が罹患することもあります。感染すると激しい下痢や嘔吐を繰り返し、発熱や脱水症状を伴うことも多く、1週間程度続きます。またロタウイルス胃腸炎は、乳幼児の急性胃腸炎の入院の中で、もっとも多い感染症です。

一生のうちに何度も感染するウイルスですが、初めてロタウイルスに感染した時は、特に重症化しやすく、まれに脳や腎臓に影響をおよぼすこともあり、注意が必要です。

ロタウイルスは日本では、主に5つの型(種類)が多くみられ、年によって流行する型は異なります。一度感染しても、その後、別の型で感染を繰り返すことがあります。



ワクチンについて



ロタウイルスワクチンは2種類あり、同様の効果があります。どちらも生ワクチン（弱毒化したウイルス）で、飲むワクチンです。医療機関で相談し、どちらかのワクチンを選んでください。

なお、途中からワクチンの種類を変更することはできませんので、最初に接種したワクチンを2回目以降も接種します。

最初の1回目は、出生後6週0日から14週6日までに接種してください。この期間を過ぎた接種はおすすめしません。

なお、接種した全員がロタウイルス胃腸炎を発症しないわけではありませんが、重症胃腸炎を防ぐことができ、ロタウイルス胃腸炎に伴う医療機関の利用(外来受診・入院)を減らす効果が確認されています。(入院については約80%減らすことが報告されています)

ロタウイルスワクチンの副反応について

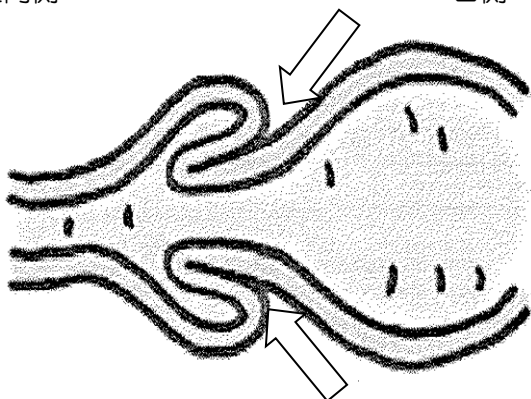


ワクチンを接種した後に、まれにウイルスに対して身体が何らかの反応を示す場合があります。副反応の症状についてはぐずり、下痢、咳、鼻水、発熱、嘔吐、食欲不振、胃腸炎などがあらわれることがあります。通常は数日程度で治まりますが、気になる症状がある時は速やかに病院を受診しましょう。また、非常にまれに腸重積症の症状があらわれることがあります。腸重積症は、0歳児の場合、ロタウイルスワクチンを接種しなくても起こる病気で、もともと、3~4か月齢ぐらいから月齢が上がるにつれて多くなりますので、早めに接種を開始し、完了することが大切です。

【腸重積症について】

肛門側

口側



腸重積症とは、腸が腸の中に入り込み閉塞状態になることです。ロタワクチンの接種に関係なく、0歳児の子どものによく見られる病気なので、ワクチンを接種しなくても注意が必要です。ロタワクチン接種後、腸重積症になる可能性がわずかに上がる場合があります。「泣いたり不機嫌になったりを繰り返す・ぐったりして顔色が悪くなる・嘔吐を繰り返す・血便が出る」という症状がひとつでもみられた時は、すぐに医療機関を受診してください。腸重積症は、早く治療すれば、手術することなく治療できます。

予防接種法の健康被害救済制度について

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合には、被害の程度に応じて予防接種法に基づく補償を受けることができます。

ただし、健康被害が予防接種によって引き起こされたものであるか、別の要因によるものなのかの因果関係を、各分野の専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。

☆予診票(もう1枚の名前や住所を書く紙)には、予防接種を受ける前の注意事項などが書かれています。必ず読みましょう。

お問い合わせ先

浦添市保健相談センター

予防接種担当

☎ 098-875-2100

